



山名一族会報

全 國 山 名 氏 一 族 会
 〒 667-1311 兵 庫 県 美 方 郡 香 美 町
 村 岡 区 村 岡 2-3-65 法 雲 寺 内
 電 話 0799619811
 F A X 0799619811

山名蔵修繕事業の経過と報告

前山名蔵でも平成3年に開館したように、山名氏専門の歴史資料館として、山名館内には法雲寺に伝わる山名関係の文物をはじめ、山名関係の皆さんからご寄進いただいた各家伝来の史料など約150点を保管展示して、居ります。また、最近では明治維新の村岡藩財政整理の際に売りに出された掛軸や刀剣等が現在の所有者から山名蔵に持ち込まれる事もあり、山名蔵関係の史料保管場所として、ある程度は認知されるように、なつて来ました。



この山名蔵も間もなく開館から30年を迎え、外装の塗装が割れや剥離が目立つので、今後は大分色褪しが目立ちます。壁には漆喰のせいで、大分色褪しが目立ちます。壁には漆喰のせいで、大分色褪しが目立ちます。

ここで一度外装の修繕事業を済ませておきたいと願い、山名会の皆様には4月に協力をお願いした次第です。この趣意書をお送りした次

一階展示室(下)と二階展示室の様子



協力金の状況

最近はこのように難しい事業に御理解いただき、山名会の皆様から早急な御協力を頂いておられます。当初の目標を上回る5万円も御協力を頂いておられます。山名蔵の皆さま方の山名会や山名蔵に寄せていただく厚いお気持ちに深く感謝申し上げます。お陰様で、安心して進めることができそうです。

竹田城供養塔 由緒碑の傾きについて

尚、山名蔵の修繕工事着手につきましても、7月下旬より山名蔵の周囲に足場を組んで作業に入る予定で居ります。工事の進捗状況につきましても、また改めてご報告致します。

建築物に関わらずですが、作られてから30年ぐらいたつと、少しずつ不具合が出てくるように。山名蔵開館に先立つ平成2年に山名赤松供養塔の由緒を、刻んだ石碑が傾いておりました。



由緒碑の傾き、横から見ると傾きがよく分かる。

市の連絡があり、竹田城があるところ、今すぐ石碑が倒れる、よくな状況では無いので、確認の前にこちらの修理にしようかと、こちらの修理にしようかと、石材店に見てもらいますと、頑丈な石垣で囲っている供養塔の敷地内には、土が少しづつ雨などで敷地の内面が少しづつ抜け出て、地面が少しづつ立ち上がるようにも傾いてしまっています。幸い供養塔



山名赤松供養塔の敷地内の土が少しずつ目減りして、由緒碑が傾いてしまう。

今回傾いた由緒碑

山名義範前理事長御世界

平成24年の山名会再興から2期4年間、山名会の理事長を勤めていただきました赤穂市の山名義範様が去る、5月6日に享年82才で御他界なされ、住職を勤めて居られた赤穂市の専念寺(浄土真宗)で5月9~10日に行われました通夜・葬儀には事務局と赤穂市の山名嗣宣常任理事が参列致しました。



山名義範氏 (H25撮影)

義範前理事長には、再活動間もない山名会の理事会や総会の議事運営を独特のユーモアを交えた進行で良くまとめていた

だきました。また、赤穂市で役員会を開いた折には、会場やお昼の準備まで整えて歓迎していただき、御馳走に預かった事を思い出します。お浄土に旅立たれた今ごろは、多分彼の地で紫煙を燃やしながら、お酒を楽しまれている事かと思ひます。心よりご冥福をお祈り致します。

葬儀の際に山名嗣宣常任理事には、弔辞を読み上げていただきました。突然の無理をお願いして申し訳ありませんでした。



会場となった専念寺(赤穂市)



生花を一基お供えしました。

部分にまでは、まだ影響が及んで居ないようです。根本的な修理となると敷地の石碑を全部撤去しての工事になるようですが、今回弱くなつて傾いている地盤部分の填圧、由緒碑の傾き修正、それに敷地内の水捌け改善などの対処的な小工事を行つてもらおうと考えています。見積もり金額は12万円という事です。

山名と赤松合同の供養塔なので、山名会の方では半額ないで、山名会の支出を考えると6万円程度の供養塔も山名会ゆかりの施設のつとして維持管理の必要性、どうか御理解よろしくお願いします。



令和元年 山名会総会について

秋11月17~18日に行います。山名会総会の準備を進めています。予定としては、第1日目・17日は、JR山陰線江原駅に集合し、バス乗車で出石へと向かい出石そばの昼食、その後出石城下を散策、史料館・山名氏祈願寺等を見学、その後、出石より城崎温泉方面に向かい、その道中で、山名氏が六分一殿と言われた頃が当主である時義・時熙父子が開基した円通寺を参拝。お宿は、城崎温泉「つたや」(会員鳥谷氏経(会)にお世話になり、鳥谷様の館のご配慮で、別館を晴嵐亭を使用させていただきます。懇親会終了後は、ゆつくりと城崎温泉の情緒をお楽しみ下さい。お

山名会総会の準備を進めています。予定としては、第1日目・17日は、JR山陰線江原駅に集合し、バス乗車で出石へと向かい出石そばの昼食、その後出石城下を散策、史料館・山名氏祈願寺等を見学、その後、出石より城崎温泉方面に向かい、その道中で、山名氏が六分一殿と言われた頃が当主である時義・時熙父子が開基した円通寺を参拝。お宿は、城崎温泉「つたや」(会員鳥谷氏経(会)にお世話になり、鳥谷様の館のご配慮で、別館を晴嵐亭を使用させていただきます。懇親会終了後は、ゆつくりと城崎温泉の情緒をお楽しみ下さい。お

令和元年山名会総会 予定表(案)	
実施日:	令和元年11月17日(日)・18日(月)
日程概略:	令和元年11月17日(日)
12:15	JR江原駅西口に集合、バス乗車
12:40	出石そば「宿坊」にて昼食
13:30	出石城下散策・家老屋敷、出石史料館等見学
15:00	総持寺、山名氏歴代の祈願寺
16:15	円通寺・山名時義・時熙父子開山の寺
17:20	城崎温泉「つたや晴嵐亭」着、入浴
18:00	懇親会、城崎温泉散策
令和元年11月18日(月)	
8:15	城崎温泉出発
9:00	隆国寺、垣屋氏の菩提寺
10:30	法雲寺・山名史料館、総会
11:00	歴史講演「小代一揆について」
12:00	昼食
12:50	一二峠御廟参拝
14:55	JR江原駅にて解散 こうのとりのり20号発車:大阪・京都方面

現時点での案、訪問先・時間等が変更になる場合も有ります。

が、ありまます法雲寺に向かい、山名蔵修繕の検分を兼ねて、総会及び歴史講演会を考えています。歴史講演は、土地の伝承で、秀吉の但馬侵攻の時に最も苦しまで抵抗を重ね藤堂高虎を苦しめたという「小代一揆」願うつもりで居ります。また、時間には余裕がありまして、村岡山名初代(因幡山名末代)の山名豊国公の墓所や歴代村岡山名の廟所等もご案内出来ればと考えています。お盆明けには、訪問先の説明も記したご案内をお送りできると思います。多くに皆様のご参加を期待申し上げます。